

# 身体拘束最小化宣言

わたしたちは、患者さんをご家族の尊厳を守り  
身体拘束しないケアを目指します。

1

わたしたちは身体拘束が及ぼす影響を常に考慮し、  
拘束しないケアの実践に努めます。

2

身体的拘束最小化チームを設置し、多職種による  
話し合いの機会を設け、最小化を目指します。

3

看護や介護の技術の向上と研究に努め、全職員の  
意識向上を図ります。

4

身体拘束を必要としない安全な環境作りを考え、  
改善に努めます。

5

やむを得ず身体拘束を行う場合は、「切迫性」  
「非代替性」「一時性」の3要件を厳守します。



社団医療法人 吳羽会  
**吳羽総合病院**

病院長 赤津晋太郎

看護部長 小川ひとみ